

# 令和4年度 戸建て自治会懇談会実施結果

1. 日時 令和4年7月3日（日）  
10:00～12:00
2. 場所 たけのパーク
3. 参加者 合計 19人

	団体名	参加人数
1	竹の台1丁目自治会	2人
2	竹の台2丁目自治会	1人
3	竹の台3丁目自治会	2人
4	竹の台4丁目自治会	2人
5	竹の台5丁目自治会	3人
	合計	10人



竹の台地域委員会役員：7人

アドバイザー：スタジオ・カタリスト松原永季氏

西神中央あんしんすこやかセンター：木下所長

## 4. 内容

(1) あいさつ 竹の台地域委員会委員長 森川

(2) アンケート結果（別紙参照）

- ・課題～自治会として困っていること、新たに取り組んだことから

### (1) 会費徴収について

2丁目自治会 75円/月（900円/年を徴集する）

5丁目自治会 100円/月 非会員（脱退した会員に環境協力金としてもらいに行くが、再入会を勧めにくくなる）

### (2) 役職の決め方

5丁目自治会 くじやじゃんけんで決めたくなかった。正と副の役割をはっきり決めてしまわずに、当事者同士で話し合い、役割分担してもらった。

役職に伴う仕事内容をもっと精査する必要がある。

1丁目自治会 班数の整理や負担軽減を図る必要あり。

### (3) 役員に辞退規程

1丁目自治会 申請書があるので、班長が事情（年齢、健康面、仕事等）をお聞きした上で自治会に提出し、承認される。

申請書の様式をその場でコピーし、他自治会に提供していただいた。

申請書は歴代の自治会長が保管している。

他自治会から、辞退者が増えると自治会が成り立たなくなるのではないかと。

自治会がなくなって困る事は？

→松原さんから 中央区二宮町などの事例を挙げ、ゴミ問題が発生し、町が汚くなる。

神戸市の他区では、解散する自治会が出ている。行政が対応できていない。

行政がしなくてはいけない最低のことしかしてもらえなくなる。

→地域委員会から 道路等公共財補修申請ができなくなる。住環境の悪化。

#### (4) 引継ぎについて

ほとんどの自治会で、引継ぎのとき、前年度と今年度の役員が一同に会し、全体説明後、担当者同士での引継ぎを行っている。

4丁目自治会 引継ぎの際、前年度役員会の議事録を新役員に読んでもらっている。→わかりやすい

5丁目自治会 自治会情報を蓄積、整理、継承する意味でホームページをつくりたい。  
役員になってから気づくことや引継ぎ情報もホームページに置いておくと、理解しやすくなる。

#### (5) その他

3丁目自治会 自治会費徴集方法を自動引き落としにする。訪問徴集と並行。

敬老の日のプレゼントについて

1丁目では、お祝い金として贈っている。申告制なので、該当者が認識していない場合も多い。

#### (6) 高齢化

地域委員会から丁目別年齢別人口（別紙）について説明後、高齢化による具体的なお困りごとを説明。

あんしんすこやかセンター木下所長から

- ・具体事例：男性一人暮らし

別居している子どもたちは親の認知症に気づけていない。あんしんすこやかセンターが気づいたときには、悲惨な状況になってしまっている。

- ・ヘルパー事業は人手不足や赤字により、事業所が閉鎖してしまう事例が相次いでいる。

自宅で過ごす高齢者がたいへんな状況になるのではないか。

- ・今後は、住民が地域で繋がるのが最も大切なことになる。例えば地域活動に元気なうちから参加していれば、活動している仲間同士で気づくことができる。他の人のためではなく、将来の自分のために地域でつながって欲しい。